

死亡症例（原因不明）

平成19年12月25日安全対策調査会
資料4-5-2

患者性別	患者年齢	患者年齢	医師記載副作名	発現日	転帰日	PT	①心電図について	②A 頸動脈経路	③B 経胸骨経路	④A 胸・呼吸器経路	⑤B 胸・呼吸器経路	⑥刺検結果	タミフル開始年月日	タミフル開始時刻	死亡年月日	死亡時刻	死亡直前の経過(投与開始日=Day0)	旧資料No.
1	女性	1年	心臓停止	2006/02/12	2006/02/12	心臓停止	-	-	-	-	-	-	2006/02/11	-	2006/02/12	-	Day1 3:00 呼吸停止となり来院 Day1 3:00 死亡	死-2-1
2	男性	2年	急死	2002/12/30	2002/12/30	突然死	-	-	-	-	-	-	2002/12/30	11:00	2002/12/30	17:30	Day0 17:00 呼吸状態悪く自家車で移動中、更に悪化したため途中の病院に駆け込む。 Day0 17:10 医師不在のため看護婦より救急要請。自発呼吸、心拍あり。 Day0 17:18 救急隊到着。全身チアノーゼ、心拍40。心マッサージ施行しつつ病院へ搬送。 Day0 17:30 気管内挿管。蘇生術施行するも反応せず死亡。	死-1-48
4	男性	3年	心臓停止	2006/02/22	2006/02/22	心臓停止	-	-	-	-	-	-	2006/02/21	-	2006/02/22	6:00	Day1 5:15 呼吸停止で発見。搬送。 Day1 6:08 蘇生せず死亡(死亡疾患:心臓停止、インフルエンザ)。	死-1-34
5	男性	3年	死亡	2007/03/14	2007/03/14	死亡	(心電図転写) H19年3月14日 心電図所見: asystole 臨床 診断名:心臓 停止状態	-	-	-	-	-	2007/03/14	18:00	2007/03/14	22:48	Day0 19:30 節食で就寝。 Day0 20:00 トイレのため起床。 Day0 21:30 うつ伏せでぐったりし反応がなかった。呼吸(-)、脈(-)。心マッサージ、マウスツーマウスをいくつか実施。 Day0 21:46 病院到着。 Day0 21:48 気管内挿管。対光反射(-)。 Day0 22:07 対光反射(-)。 Day0 22:19 直腸温度37.4度。心マッサージ。 Day0 22:48 死亡確認。	死-2-8
6	男性	3年	突然死	2002/12	2002/12	突然死	-	-	-	-	-	可溶性で高度肺炎(肺炎なし)、脳神経高度(脳ヘルニアなし)、microbleeds、基底動脈瘤にて「インフルエンザ脳症と矛盾しない」とされた。	2002/12/X	14:00	2002/12/X	17:15	Day0 14:00 服用後就寝。1時間後起床し再度入眠。 Day0 16:00 左胸部位で呼吸停止状態に気づかれ、救急搬送。 Day0 17:15 死亡(死亡疾患:脳症)。	死-2-10
8	女性	4年	突然死	2005/03/08	2005/03/08	突然死	-	-	-	-	-	-	2005/03/07	夜	2005/03/08	不明	Day0 (夜) 本剤服用後嘔吐。 Day1 (朝) 四肢末梢の冷感と疼痛を訴え、その後突然心臓停止。死亡(死因:心筋炎疑い)。直前まで意識清明で痙攣なし。	死-1-50
9	女性	5年	窒息	2002/03/07		窒息	-	-	-	-	-	-	2002/03/06	-			Day1 不明 不明 窒息(痰、嘔吐物等) 死亡	死-1-6
10	男性	6年	突然死	2005/12/16	2005/12/16	突然死	-	-	-	-	-	-	2005/12/16	17:00	2005/12/16	18:06	Day1 1:30 咳嗽を認め急患センターへ。呼吸音異常なし。胸痛なし。 Day1 4:30 呼吸困難あり急患センターへ連絡。 Day1 4:50 呼吸停止。血便。血便は茶褐色で鮮血なし。胃内より血性物(胃液に血が混じる程度)。 Day1 6:06 心マッサージ、人工呼吸続けるも死亡。 脳がパンパンに腫れている状態ではなく脳孔も閉塞され、心臓は心筋が少し厚くなっている程度であり、脳症心筋炎は考えられず。	死-1-54
17	女性	20年	突然死	2005/03/04	2005/03/06	突然死	発症日:2005年3月4日	-	-	-	-	-	2005/03/03	-	2005/03/06	18:50	Day1 11:00 呼吸停止の状態で見え。 Day1 不明 救急搬送時に蘇生施行。病院到着時に心拍再開。意識なく瞳孔散大。低酸素血症。高度の浮腫。 Day1 18:20 死亡確認(死亡疾患:心臓停止)。	死-1-49
18	女性	20年	心臓停止	2007/03/22	2007/03/22	心臓停止	-	-	-	-	-	父:高血圧症	2007/03/18	-	2007/03/22	朝	Day0 (夜) 嘔気。 Day1 15:00 立ちくらみ。摂食不可。 Day2 15:00 嘔気嘔吐。 Day3 (朝食後) 嘔吐。顔面蒼白。腹痛。 Day3 17:20 来院。嘔吐嘔気。 Day3 19:00 嘔吐嘔気。 Day4 (朝) 救急搬送中に心臓停止。蘇生を行うも死亡(死亡疾患:心臓停止)。	死-2-4
19	女性	20年	急性呼吸不全	2007/03/22	2007/03/24	急性呼吸不全	(心電図転写) 胸図の心電図では診断できない	-	-	-	-	-	2007/03/21	23:40	2007/03/24	6:32	Day1 不明 腹痛出現。 Day2 不明 心窩部圧痛。ゲル音正常。食欲無し。帰宅後、腹痛増強し、嘔吐。食事不可。 Day3 9:35 救急搬送される。搬送時、血圧98/60、脈拍83/分、SpO2 98%。意識中。月経中で腰痛あり。 Day3 11:55 胃ファイバースコープ施行。胃内出血(-)、多量の胃液貯留。 Day3 13:00 入院。血圧169/112。脈拍108/分。体温36.1度。 Day3 15:00 EKGにて低電位、II、IIIaVF、軽度ST上昇。心窩部痛、後胸痛。 Day3 19:00 うとうと寝ていたが、再度痛み増強。 Day3 19:45 不眠。 Day3 23:30 排便。 Day4 2:00 訪床時、ベッドに座ってお茶を飲んでた。 Day4 3:00 うとうとしている。 Day4 3:15 訪床時、下顎呼吸。四肢末梢にチアノーゼあり。気管内挿管。血圧触知不可。心マッサージ実施。 Day4 6:32 蘇生叶わず死亡確認される(死亡疾患:インフルエンザ)。 CPR icsymにてM43%、M81%、B6%とM型の上昇を認めた。前日よりほとんど飲水のみで食事を取れずであったが、血糖は220と高値であった。	死-2-6
			急性心不全	2007/03/22	2007/03/24	急性心不全												

死亡症例（原因不明）

患者性別	患者年齢	患者年齢	医師記載副作名	発現日	転帰日	PT	①心電図について	②-A 補償器既往歴	②-B 補償器家族歴	③-A 脳・呼吸器既往歴	③-B 脳・呼吸器家族歴	④病歴結果	タミフル開始年月日	タミフル開始時刻	死亡直前の経過 (発病開始日=Day0)	旧資料No.
20	男性	26年	下痢 死亡	2007/02/05	2007/02/07	下痢	-	-	-	-	-	-	2007/02/01	-	Day4 --- 下痢(水様便、数回/日、脱水)にて受診。受診時、徒歩にて訪れぐったりしていることもなく全身状態が悪くなっていく様子は無かった。胸腹部膨満感、臍拍も異常なし。 Day5 (夜) 友人訪問の際、挨拶をしている。 Day6 (夜) 家族が電話するも連絡がとれず。 Day6 10:30 死亡確認(前日夜から朝にかけて亡くなったと思われる)。	死-1-42
21	男性	26年	死亡	2005/03/02	死亡	死亡	-	-	-	-	-	穿胸の挿管が認められた。穿胸が重傷で2倍ほどに膨れていた。冠経は岩手まゝと感したが、若い人であるのですぐに判断できない。冠の拡大(挿管)は不明。両腎性肺炎(びまん性)を疑念。	2005/03/02	-	Day0 --- 死亡(死亡疾患:穿胸挿管、肝腎性肺炎症)	死 1 20
22	男性	26年	突然死	2005/03/02	2005/03/02	突然死	-	-	-	-	-	(剖検所見添付) 病変①両肺うっ血水腫 ②両肺動脈 ③腎うっ血 ④胃うっ血 ⑤腸うっ血 ⑥胃うっ血 ⑦小腸うっ血 ⑧結腸うっ血 ⑨胃管支周囲リンパ節腫大 ⑩肺動脈リンパ節腫大	2005/03/02	16:30	Day0 17:00 自室に入る。 Day0 17:40 家人が意識消失しているところを発見。救急搬送。 Day0 17:55 救急搬入時、心臓停止、瞳孔散大。心肺蘇生開始。人工呼吸を行うも血中酸素濃度は上昇せず。高度のアンドロシムを認める。静脈血pH 7.00。救急室でチューブからピンク色の血液が湧き出され、徐々に血性に近い色になる。 Day0 18:45 死亡確認(死亡疾患:突然死)	死-3-1
23	男性	31年	心臓停止	2004/02/24	2004/02/25	心臓停止	-	-	-	-	-	気管及び気管支内に赤色結物を多数に存在。結核の疑念あり。肺動脈では冠状の出血巣存在。食道下部結核、胃結核に出血傾向あり	2004/02/24	13:00	Day0 19:30 自室にて就寝。 Day0 23:20 布団の中で仰臥位をとっており、呼者に反応せず。体が冷たくなっており、呼吸を認めないため救急要請。 Day1 0:03 救急搬入。心臓停止状態。心肺蘇生。 Day1 0:44 死亡確認(死亡疾患:ウイルス性肺炎)。	死-1-12
24	女性	32年	急性心不全	2006/02/13	2006/02/13	急性心不全	-	-	-	-	-	-	2006/02/12	-	Day1 4:00 呼吸を認めないため救急要請。救急到着時、心臓停止。 Day1 5:05 救急搬入。心臓停止にて蘇生開始。 Day1 5:28 死亡確認(死亡疾患:急性心不全)。	死-1-29
25	男性	32年	突然死(心臓停止)	2007/03/29	2007/03/29	突然死	-	-	-	-	-	(剖検所見添付) A. 主病変:インフルエンザウイルス肺炎、気管支炎 B. 副病変 1. 脳浮腫(脳重さ1370g) ②脳温度増加 2. 肺うっ血(肺重さ2380g、右330g) 3. うっ血肝(肝重さ860g) ④ショック腎(うっ血腎(重さ左170g、右160g)) 死亡後、血漿増量性、動脈硬化症はほとんどなし。肥満傾向はほとんどなし。心筋萎縮なし、胸腺腫縮なし、大動脈細小化なし、脳ヘルニアなし。心重さ310g、肺重さ10g、心臓液なし	2007/03/28	15:00	Day1 0:00 タミフル100mg服用後、通常通り会話後自室に入り就寝。 Day1 2:00 呼吸を認めず救急要請。到着時、心臓停止状態。 Day1 2:25 救急搬入後、心電図上心静止状態。人工呼吸、心マッサージ施行。 Day1 3:45 蘇生を行うも改善せず死亡確認(死亡疾患:突然死)。	死-2-2
26	男性	34年	突然死	2002/12/18	2002/12/18	突然死	-	祖父: 突然死	-	-	-	-	2002/12/17	20:30	Day0 20:30 就寝。就寝時発熱は見られなかったが翌朝レベル正常。機で家人が就寝していたが、特に苦しみようなく異常を認めなかった。 Day1 7:00 死体で発見。死体検視、死後硬直を認める。 推定死亡時刻0:00前後。	死-1-47
27	男性	34年	心臓停止	2002/02/08	2002/02/08	心臓停止	-	-	-	-	-	剖検または検死の所見:急性心不全を伴う所見がみられるが、突然死の原因となる所見はみられなかった。	2002/02/08	12:00	Day0 12:00 就寝。 Day0 14:00 呼吸を認めず救急要請(苦しみだ様子は無かった)。救急到着時心臓停止。心蘇生を行いつつ搬送。 Day0 14:45 救急搬入。心臓停止。補助呼吸を施行。頭部・胸腹部CTを行うも異常所見なし。 Day0 18:45 死亡確認。	死-1-7
28	女性	36年	突然死	2007/03/10	2007/03/10	突然死	心電図所見: 頻脈、ST変化?	(安静上なし)	-	-	-	-	2007/03/09	12:00	Day1 4:30 巡回時、異常なし。 Day1 6:00 呼吸停止状態で発見。 Day1 6:15 死亡確認。	死-1-55
29	男性	38年	突然死	2005/03/14	2005/03/14	突然死	-	-	-	-	-	-	2005/03/13	11:00	Day-13 --- 高血圧(540mg/dL)を認め外来紹介。入院勧めるも拒否。 Day-4 --- CT異常: 小脳、基底核に異所性石灰化あり。知的障害が見られた。 Day-3 --- 意識レベル低下。会話がからうとして可能な状態。電解質異常を伴う糖尿病性中毒。血糖105mg/dL。 Day-2 --- 意識状態は会話が可能状態。 Day-1 --- 血尿、意識は改善。 Day0 --- 朝から発熱。 Day1 6:35 「弁当はまだですか? 朝も夜も食べていない」と断えた。説明するも何度もコール。 Day1 9:00 解熱し、血尿もかなり改善。電解質正常化。 Day1 (夕食後) 「夕飯が吸いたい」と会話を約10分後に看護師が急変に気づき、心、呼吸停止状態で発見。心マッサージ等施行するも効果なく死亡(死亡疾患:突然死)。	死-1-53
30	女性	38年	病死	2005/03/01	2005/03/01	死亡	-	慢性肺炎	-	-	-	死体検視、視鏡による出血(尿尿)	2005/02/28	15:48以降	Day1 (朝) 朝起きてこない。布団の上でうつつがせになって死亡していた。	死-1-30
31	男性	39年	突然死	2005/02	2005/02/20	突然死	-	-	-	-	-	推定死亡時刻: 就寝3時間後。主要所見: 拡張性心不全(448g、左室なし)、肺水腫(肺水なし)、電解質異常(血清Na 125mg/dL)、血中トリホニン陽性、拡張型心不全による急性左心不全で全と診断	2005/2/X	22:00頃	Day0 22:00 就寝 Day1 (朝) 仰臥位、心臓停止状態で発見(死亡疾患:肺水腫、急性心不全)。	死-2-11

死亡症例 (原因不明)

患者性別	患者年齢	医師記載別作用名	発現日	転帰日	PT	①心電図について	②-A 補償器既往歴	③-B 補償器稼働型	④-A 加・呼吸器既往歴	⑤-B 加・呼吸器稼働型	⑥病状概要	タミフル開始年月日	タミフル開始時刻	死亡直前の経過 (投与開始日=Day0)	旧資料No.
33	男性	40年	多臓器不全	2006/02/19	2006/02/19	多臓器不全	-	-	-	-	胃・大腸に出血あり。肺、心臓、腎臓に検出所見なし。腎小動脈、肝臓、皮下出血なし。脳神経せず。	2006/02/18	16:30	Day1 6:00 下痢。多臓器不全発現。 Day1 10:00 顔面、体幹に黒色の皮膚出現。 Day1 14:00 救急搬入。BUN、Cre上昇。血圧60台へ低下。 呼吸器不調。 Day1 18:20 病棟移動中、呼吸停止。心マッサージ等蘇生試みる。 Day1 19:24 死亡確認(死亡疾患:多臓器不全)。	死-1-32
38	男性	61年	精神症状の疑い(自殺)	2006/03/08	2006/03/08	自殺既遂	-	-	-	-	-	2006/03/07	-	Day5 --- 肺結核後遺症(陳旧性肺結核)に伴う慢性呼吸不全に感冒を合併し入院。 Day1 --- インフルエンザ感染。 Day1 5:00 生存確認。 Day1 6:30 病室不在を確認。 Day1 7:39 自衛室前の路上に死亡しているのを発見。自殺目的で4階自病室ベランダから飛び降りた。自室のノートに遺書あり。	死-1-35
39	男性	52年	喘息死	2005/03/09	2005/03/09	死亡	(心電図送付) 発症日:17年3月19日 心電図所見:Tachycardia	血圧200~100	気管支喘息	-	-	2005/03/09	19:30	Day0 19:30 寝室で横になる。 Day0 20:40 呼吸困難のため救急要請。救急到着時心臓停止状態。心肺蘇生を施行。 Day0 21:12 救急搬入。 Day0 22:15 心臓停止。	死-1-23
42	女性	57年	死亡	2006/01/12	2006/01/12	死亡	-	-	-	-	-	2006/01/10	-	断続的型ジストロフィーあり。寝たきりで食事は自分で取れず、完全介護の状態。 Day2 4:00 生存確認。家族が知的障害を持っているため元気があったかは不明。 Day2 8:50 床の中で死亡。 Day2 9:44 死亡確認。	死-1-28
43	男性	57年	けいれん	2007/03/26	2007/03/26	痙攣	-	-	-	-	-	2007/03/25	22:00	2年時に多発性骨髄腫の診断。 Day-18 --- 多発性骨髄腫のため入院。 Day1 3:30 意識レベル低下。両手に痙攣。 Day1 4:50 痙攣を繰り返す。下顎に認められる。10秒持続。意識、呼名反応あり。 Day1 9:00 SpO2 71~72%。四肢間代産物(10秒持続)。意識JCSⅢ。 Day1 9:10 無呼吸心停止。蘇生行っても自発呼吸、自己心拍再開せず。 Day1 10:10 死亡確認(死亡疾患:肺炎、痙攣)。	死-2-5
41	男性	57年	急性心不全	2001/12/18	-	急性心不全	-	-	-	-	-	2001/12/08	9:00	Day0 17:00 急性心不全発現。搬送。 不明 --- 死亡	死-1-1
45	男性	59年	心臓停止	2007/03/25	2007/03/25	心臓停止	-	-	-	-	「司法解剖進行のため当方からはお答えできません」	2007/03/25	11:00以降	Day0 18:30 巡回時間無し。 Day0 19:16 巡回時布団上で、伏臥位で心臓停止状態。蘇生施行。 Day0 20:05 死亡確認(死亡疾患:心臓停止)。	死-2-12
46	男性	62年	多臓器不全	2001/03/08	2001/03/08	多臓器不全	-	-	-	-	-	2002/03/07	-	Day0 --- 具合が悪くなり救急要請。 Day1 0:35 心臓停止。 Day1 2:16 多臓器不全で死亡。	死-1-4
47	男性	63年	呼吸困難	2002/03/06	2002/03/07	呼吸困難	-	-	-	-	-	2002/03/01	-	Day6 8:00 呼吸困難発現。救急車内にて心・呼吸停止。病院にて蘇生。 Day6 (午後) 死亡(死亡疾患:多臓器不全)。	死-1-5
48	男性	64年	心臓停止	2005/03/06	2005/03/06	心臓停止	-	-	不整脈(詳細不明)	-	-	2005/03/04	-	1961年頃発症の慢性閉塞性気管支炎のため、意思疎通コミュニケーションは困難にしている患者。 Day2 18:02 夕食を介助にてスムーズに摂取。16:30-18:02までは呼吸状態は普段と変わらず食事のむせもなかった。 Day2 18:05 呼吸停止。心停止。心臓マッサージなど施す。 Day2 20:12 死亡確認。	死-1-18
51	女性	68年	急性呼吸不全	2007/04/02	2007/04/02	急性呼吸不全	-	-	脳梗塞(小脳实质性)、発症時期は不明	-	-	2007/04/01	18:00	3年ほど前から腎臓小脳实质性と診断されて入院。9ヶ月ほど前に脳梗塞にて中絶。補の要領とラタナ投与が見られた。 Day1 1:30 いびきを頻りにして入院中であることを確認。 Day1 4:00 意識状態あり。守り、自己嚥下可能。呂律困難だがコミュニケーションの問題なし。呼吸状態の変化なし。 Day1 6:55 心停止。呼吸停止。蘇生開始。 Day1 7:00 心臓マッサージを開始。 Day1 7:30 死亡確認(死亡疾患:急性呼吸不全)。	死-2-13
54	男性	72年	突然死	2005/04/01	2005/04/01	突然死	-	-	-	-	・脳神経、外観的に全体的に萎縮感(組織壊死等あり) ・インフルエンザ陽性の有無:検査室から送られたとも思えるが取り扱っていない ・小腸:5~10cm程度の萎縮あり。血球が壊れて壊死をおこしたかは不明 ・心筋系、心筋梗塞、高血圧症は見られず。高血圧はあったが治療するほどの程度ではなかった ・肺萎縮、呼吸器は認められず。肺動脈血栓症の所見は見られず。	2005/04/01	13:00	2ヶ月半ほど前から尿閉治療のため入院。1ヶ月半ほど前に尿道スアント施行。 Day0 15:30 発熱なく元気も通常通り。 Day0 18:05 ベッドにうつぶせの状態でも心臓停止状態であることが発見される。心臓蘇生開始。 Day0 19:08 死亡確認(死亡疾患:脳神経、消化管壊死)。	死-1-972

死亡症例（原因不明）

患者性別	患者年齢	患者年齢	医師記載副作用名	発現日	転帰日	PT	①心電図について	②-A 補償器既往歴	②-B 補償器家康歴	③-A 型・呼吸器既往歴	③-B 型・呼吸器家康歴	④剖検結果	タミフル開始年月日	タミフル開始時刻	死亡直前の経過(投与開始日=Day0)	旧資料No.
59	女性	82	アナフィラキシーショック	2006/02/16	2006/02/16	アナフィラキシーショック	-	-	-	-	-	-	2006/02/16	18:00	インフルエンザ陽性。高齢であり入院勧めるも帰宅。 Day0 18:00 急変。アナフィラキシーショック(S/O)発現。 Day0 19:00 緊急搬送。来院時、心臓停止状態。死亡(死亡疾患:アナフィラキシーショック)。	死-1-31
61	女性	83	心臓停止	2007/02/25	2007/02/25	心臓停止	-	-	-	-	-	-	2007/02/22	-	Day3 (朝) ジュースを飲ませた後に突然呼吸停止。 Day3 10:39 自宅にて死亡(死亡疾患:心臓停止)。	死-1-44
66	女性	87	心臓停止 低糖質血症	2007/03/16 2007/03/16	2007/03/21 2007/03/21	心臓停止 低糖質血症	(心電図所見) 発症日:19年3月16日 1度房室ブロック (中等度)三尖弁閉鎖不全、(軽度)僧帽弁閉鎖不全、心不全(III度、2.16のBNP値:266)、高血圧症	-	-	-	-	-	2007/03/15	18:00以降	Day1 0:00 自宅で心臓停止状態であるところを発見。 Day1 0:30 心臓停止状態で緊急搬送。心臓マッサージにて心電図上調律に回復となる。頭部CTにて脳浮腫、胸部CTにて両側胸水を認める。 Day1 2:05 心電図検査にて上室性期外収縮、1度房室ブロック、非特異的ST-T変化。 Day1 (午前) 消化管出血発現。比較的多量の血便(普通便に増血便じりの便が多量)。 Day2 14:32 死亡確認(死亡疾患:心臓停止、低糖質血症)。	死-2-7
71	女性	95	突然死	2005/03/23	2005/03/23	突然死	-	-	-	-	-	-	2005/03/22	夕	B型インフルエンザのため入院。 Day1 16:00 回診時、呼吸区、嚆鳴改善しており、普通に会話可能。 Day1 17:16 回診時、呼吸停止しており、蘇生するも効果なし。 Day1 17:45 死亡確認。	死-1-51

死亡症例（その他）

	当局報告受理番号	患者性別	患者年齢	患者年齢	医師記載副作用名	発現日	転帰日	PT	旧資料No.
3	04026215	男性	2年	2年	心肺停止状態	2005/02/27	2005/05/20	心肺停止	死-1-19
7	04026881	男性	4年	4年	胸中苦悶 原因不明の死亡	2005/03/02 2005/05/01	2005/05/01 2005/05/01	胸部不快感 死亡	死-1-21
11	03011242	男性	9年	9年	急性肺炎	2004/02/20	2004/02/21	急性肺炎	死-1-11
12	06007798	男性	12年	12年	外傷	2006/07/03		損傷	死-1-39
13	05002487	男性	14年	14年	意識障害の疑い	2005/02/05	2005/02/05	意識変容状態	死-1-26
14	06024434	女性	14年	14年	転落死	2007/02/16	2006/02/16	転倒	死-1-41
15	06024795	男性	14年	14年	異常行動による死亡 転落	2007/02/27 2007/02/27	2007/02/27 2007/02/27	異常行動 転倒	死-1-43
16	04008399	男性	17年	17年	異常行動	2004/02/05	2004/02/05	異常行動	死-1-16
32	07001284	男性	39年	39年	てんかん重積 意識障害	2007/03/05 2007/03/05	2007/04/09 2007/04/09	てんかん重積状態 意識変容状態	死-2-16
34	07006772	女性	40年	40年	脳性けいれん	2006/02/18	2006/02/19	痙攣	
35	07000245	男性	45年	45年	自殺(死亡)			自殺既遂	死-2-9
36	06004486	男性	49年	49年	原因不明の死亡	2006/02	2006/02	死亡	死-1-38
37	06010654	男性	50年	50年	劇症肝炎、急性肝炎	2006/07/19	2006/08/14	劇症肝炎	死-1-40
40	B-01-4575	男性	54年	54年	出血性十二指腸潰瘍	2001/06/22	2001/06/28	出血性十二指腸潰瘍	死-1-3
44	04027246	男性	58年	58年	中毒性表皮壊死融解症(ライエル症候群)	2005/02/25	2005/03/06	中毒性表皮壊死融解症	死-1-22
49	06025523	女性	66年	66年	ALT2000台 肝機能障害、劇症肝炎	2007/02/20 2007/02/20	2007/03/07 2007/03/07	アラニン・アミノトランスフェラーゼ増加 劇症肝炎	死-1-46
50	04000136	男性	68年	68年	ショック	2004/03/02	2004/03/06	ショック	死-1-13

死亡症例（その他）

	当局報告受理番号	患者性別	患者年齢	患者年齢	医師記載副作用名	発現日	転帰日	PT	旧資料No.
52	07000599	女性	68	年	肺炎増悪 白血球減少	2007/03/28 2007/03/28	2007/03/29 2007/03/29	肺炎 白血球数減少	死-2-14
53	05024749	男性	71	年	D I C 劇症肝炎 多臓器不全	2006/02/20 2006/02/20 2006/02/20	2006/02/25 2006/02/25 2006/02/25	播種性血管内凝固 劇症肝炎 多臓器不全	死-1-33
55	B-01-2125	男性	73	年	急性肝障害 急性腎不全	2001/03/23 2001/03/24	2001/04/01 2001/04/01	肝障害 急性腎不全	死-1-2
56	04001536	男性	74	年	白血球減少症	2004/03/30	2004/03/31	白血球減少症	死-1-14
57	04025470	男性	75	年	劇症肝炎	2005/02/23	2005/03/14	劇症肝炎	死-1-17
58	B03-4121	男性	77	年	多臓器不全	2003/01/22	2003/01/23	多臓器不全	死-1-8
60	04006094	女性	83	年	肝障害	2004/01/29	2004/01/30	肝障害	死-1-15
62	03006021	女性	84	年	肺線維症	2003/12/20		肺線維症	死-1-9
63	06003573	女性	84	年	再生不良性貧血	2006/01/30	2006/05/15	再生不良性貧血	死-1-37
64	05026721	女性	86	年	白血球減少症 無顆粒球症	2006/03/01 2006/03/01	2006/03/03 2006/03/03	白血球減少症 無顆粒球症	死-1-36
65	05002112	女性	87	年	播種性血管内凝固症候群	2005/04/01	2005/04/10	播種性血管内凝固	死-1-25
67	03010095	男性	89	年	腎障害	2004/01/30	2004/02/19	腎障害	死-1-10
68	05003268	女性	91	年	血小板減少 白血球減少	2005/04/03 2005/04/03		血小板数減少 白血球数減少	死-1-27
69	07000232	男性	93	年	アレルギー性肺臓炎（間質性肺炎）	2007/03/29	2007/04/14	アレルギー性胞隔炎	
70	05001178	男性	94	年	消化管出血	2005/03/30	2005/03/31	胃腸出血	死-1-24